

# HOPE<sup>plus</sup>

【市立芦屋病院だより】



## 整形外科 リハビリテーション科の紹介

リハビリテーション科 部長 じょうやま すすむ 城山 晋

当院の整形外科は常勤医師4名と非常勤医師4名、リハビリテーション科は兼任の医師（筆者）1名と常勤職員の理学療法士7名、作業療法士3名、言語聴覚士2名、非常勤職員の言語聴覚士2名、事務職員2名を中心に運営しています。

地域のクリニックや病院と緊密に連携し、専門的な治療や手術を必要とする患者さんを積極的に受け入れています。手術や急性期の治療を終えた後、患者さんが一日も早く元の生活を取り戻せるよう、整形外科とリハビリテーション科が密に連携し、二人三脚でサポートにあたっています。



▲右から：整形外科 名和 徹 部長  
リハビリテーション科 城山 晋 部長  
整形外科 井内 勇介 医師  
整形外科 石川 直輝 主任医長

▲手術室職員



整形外科 部長  
なわ げん  
名和 徹

### 専門分野

膝関節外科、内視鏡治療、人工関節手術など



リハビリテーション科 部長  
じょうやま すすむ  
城山 晋

### 専門分野

外傷整形外科、骨・軟部腫瘍



整形外科 主任医長  
いしかわ なおき  
石川 直輝

### 専門分野

一般整形外科



整形外科  
い うち ゆうすけ  
井内 勇介

## 整形外科：

### 手術と急性期治療を専門的にサポート

整形外科では、骨、関節、筋肉、神経など「運動器」に生じた痛みやしびれ、外傷（ケガ）の治療を専門に行っています。特に力を入れているのは、加齢によって軟骨がすり減ったり半月板が傷んだりして起こる変形性膝関節症などの治療です。病状に応じて人工膝関節の手術を中心に、関節を温存する関節鏡によるいわゆるクリーニング手術も行っています。骨折の治療は損傷の程度に応じて手術治療とギプスなどによる保存治療を組み合わせで行っています。骨折の手術治療（脊椎・骨盤・開放骨折などを除く）には、いずれも経験豊かなメンバーが治療に当たっています。

患者さんの身体的・精神的な負担を最小限に抑えながら、安全で確実な医療を実践することが私たちの使命です。

## リハビリテーション科：

## 早期回復と日常生活への復帰

手術直後や入院した段階から、リハビリテーション科のセラピスト（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）が介入します。寝たきりになることを防いで、合併症を予防し、早期の回復を目指します。当院は急性期病院であるため、入院できる期間が限られています。リハビリのために長期療養の必要な方は近隣のリハビリ専門病院と連携して、途切れずに治療が続けられる態勢を整えています。退院後に患者さんがご自宅や地域で安心して送れるように、入院中から計画的に治療を行っています。



リハビリテーション科 中央：城山 晋 部長

患者さん一人一人の年齢や生活背景、ご希望をしっかりとおうかがいし、医師、看護師、リハビリスタッフが一丸となってサポートいたします。

ケガや関節の痛みでお悩みの方、手術後の機能回復についてご不安がある方は、当院の整形外科をご受診ください。かかりつけ医の先生にご相談いただくと予約がスムーズに行えます。地域の健康を守る身近な病院として、スタッフ一同、皆さんの健やかな毎日を全力で応援してまいります。

## 作業療法士（OT）の紹介



リハビリテーション科

主査

にしこり 錦古里

しゅく 淑

作業療法士（Occupational Therapist、略称 OT）は、病気やけが、加齢などによって日常生活や社会活動に支障をきたしている方々に対し、『作業』を通じて心と体の回復や維持、生活の質（QOL）の向上を目指します。ここでいう『作業』とは、食事や入浴、着替えなどの日常生活動作、また趣味や仕事、地域活動など、人が日々行う様々な活動を指します。患者さん一人一人の目標や個性に合わせたリハビリテーションを行います。

作業療法士は他職種と連携しながら、患者さんの身体機能や認知機能、精神面を多角的に評価し、必要な支援を提案します。例えば、転倒予防のためのバランス練習や、手先の動きを改善するための道具の使い方指導、認知症の方への記憶力トレーニングなども作業療法の一環です。また、自宅や地域で安全に過ごせるよう、家屋改修のアドバイスや福祉用具の選び方もサポートします。

市立芦屋病院では、作業療法士は医師の指示のもと、急性期から回復期、維持期まで幅広い患者さんを対象にリハビリテーションを実施しています。認知機能の検査や日常生活動作の自立、社会復帰に向けた練習を提供し、地域での生活へとつなげていきます。脳血管疾患や呼吸器疾患の患者さんのほか、整形疾患では主に上肢にトラブルのある患者さんに対して専門的なアプローチを行います。また、院外の活動といたしましては市民公開講座や健康大学での講義、中級パラスポーツ指導員の取得や学会での研究発表など取り組んでいます。

市立芦屋病院の作業療法士は、患者さんやご家族の声に耳を傾け、『できること』を大切にしながら、その人らしい生活の実現をサポートしています。市民の皆さんの健康と豊かな生活を守るために、今後も地域と協力しながら活動を続けてまいります。



作業療法士



## 理学療法士 (PT) の紹介



リハビリテーション科 主査

たむら ひろし  
田村 宏

当院のリハビリテーション科には、理学療法士が7名います。一般的にリハビリテーションとは、「病院内で行う機能回復訓練の場」とイメージされていると思います。その中で理学療法とは、病気、けが、高齢などによって能力が低下した患者さんに対し、機能の維持・改善を目的に運動、温熱療法、電気療法や起きる、座る、歩くなどの基本動作を用いて行う治療法とされています。例えば、股関節の骨折により入院を余儀なくされた患者さんに対して、“趣味の散歩が再びできること”を目標に挙げたとします。当院の理学療法は「低下した機能を単に回復するだけではなく、今使える機能を最大限に引き出し、環境にどう適応するか考えていく場」であることを信念としています。つまり、基本動作の回復、運動機能の向上に加えて自宅での活動範囲、手すりの位置、段差の有無など個々の生活スタイルを詳細に把握し、必要な筋力、バランスを考慮した実用的な動作の獲得に努めることを目指しています。



理学療法士

これにより患者さん自身も明確な目標のもと、積極的に取り組み、動作獲得へ効率的に機能することができます。退院が視野に入ってくると、退院前訪問指導や理学療法士が症例検討会へ参加することにより、他職種と協力して退院後のバックアップや病院から在宅診療への流れづくりも行っています。芦屋市民の皆さんの背景に見合った機能回復、社会参加の一助となることを目指し入院、外来問わず理学療法を展開していきたいと思っています。理学療法のことでお悩みや困りごとがありましたら、何でもお気軽にご相談ください。

## 言語聴覚士 (ST) の紹介



リハビリテーション科 主査

いま い たか ひさ  
今井 教仁

病気やけが、または発達の課題などにより、大切なコミュニケーションが難しくなることがあります。そうした困りごとに対し、専門的な支援を行うのが「言語聴覚士」です。

言語聴覚士は、1997年に国家資格として創設された、リハビリテーション分野では比較的新しい専門職です。支援の対象は、小児から高齢者まで多岐にわたり、幅広い年齢層の方々と関わっています。特に高齢者に対しては、ことばの支援に加え、摂食・嚥下障害へのリハビリテーションにも力を入れており、安全に「食べる」機能の回復を目指した支援を行っています。

また、市立芦屋病院では、県内でも数少ない「学習支援外来」を設け、小児科や看護師と連携しながら、学習に困難を抱える子どもたちへの支援にも取り組んでいます。読み書きにおけるつまずきの背景を評価し、それぞれの特性に応じた学習方法を提案することで、子どもたちの可能性を広げるお手伝いをしています。

このように、言語聴覚士は医師や看護師、その他専門職と連携しながら、患者さん一人一人が「自分らしい生活」を送ることができるよう支援しています。今後も「ことば」や「食べる」ことに関する支援を通じて、地域の皆さんの健康と生活の一助となれるよう努めてまいります。



言語聴覚士

## 市立芦屋病院公開講座

お問い合わせ先：芦屋市立公民館 〒659-0068 芦屋市業平町8-24 Tel 0797-35-0700

時間 14時～15時30分

場所 芦屋市民センター401室

受講料 無料

| 日程       | 内容          | 講師                    |
|----------|-------------|-----------------------|
| 7月11日(土) | 市立芦屋病院の紹介   | 血液・腫瘍内科<br>水木 満佐央 病院長 |
| 8月1日(土)  | 心房細動について    | 循環器内科<br>東堂 沙紀 医師     |
| 9月12日(土) | 骨粗鬆症と骨折について | 整形外科<br>城山 晋 医師       |

※市立芦屋病院ホームページをご覧ください。上記の芦屋市立公民館へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

# 市立芦屋病院の人間ドック・健康診断

人間ドックセンター長 **わたなべ かずこ**  
**渡部 和子**

**11月1日 日曜健診開催!!**

この日は特定健診ほか、様々なオプション検査を受けることができます。  
詳しくはホームページや広報をご確認ください。

**【人間ドック】** 月曜日から金曜日 8時半受付開始（1日6名まで）  
\* 2週間前までに要予約

**基本項目**（身長・体重・腹囲・血圧・心電図・視力聴力検査・各種血液尿検査）に加えて

## 低線量胸部CT検査



肺だけでなく、  
頸部・心臓・血管・  
骨・筋肉・脂肪分  
布もチェック!

## 胃カメラ

鼻から、口からを選べます。  
+¥4,400で鎮静下で実施できます。

## 上腹部超音波検査

肝・胆・脾・腎・腹部大動脈



+男性は前立腺も検査します。

## 体力測定

握力、歩行速度（75才以上対象）

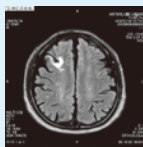
## 乳がん・婦人科検診

乳がん検診は 2D・3D マンモグラ  
フィ・乳腺超音波検査から選べます。

## オプション検査

### 脳ドック

脳実質と頸動脈、  
脳動脈の狭窄や瘤、  
VSRADで萎縮の度合、  
偏在を解析



### 大腸内視鏡検査

AI内視鏡を使用し、  
鎮静下で検査。



### 骨塩量測定

DEXAによる  
腰椎・大腿骨の  
骨塩量測定



### 歯科検診

芦屋メディカルコミュニティ  
山内歯科口腔外科にて行います。



### その他

腫瘍マーカー、甲状腺、BNP（心機能）、リウマチ、HPV（女性）、  
ピロリ菌抗体、体液量測定、睡眠時無呼吸、持続血糖測定、内臓脂肪測定

**【けんぽ健診 医師国保健診】** 月曜日から金曜日 8時半受付開始  
\* 1週間前までに要予約

基本項目にプラスして、上記オプション検査とドック検査の低線量胸部CT検査、腹部超音波検査も追加可能です。

## 【その他】

特定健診、雇用時健診、社会保険健診、就学時健診も受診できます。



人間ドック・各種健診の  
お申し込み、お問い合わせ

TEL.0797-31-2156

医事課検診担当（平日：午後2時～4時半）

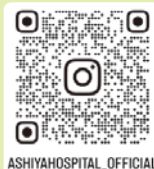
## 市立芦屋病院 ご案内



※病院ネットワークバスもご利用ください **無料**

| 交通案内      |      |
|-----------|------|
| JR芦屋駅から   |      |
| タクシー      | 約5分  |
| バス        | 約15分 |
| 2番のりば     |      |
| 徒歩        | 約30分 |
| 阪急芦屋川駅から  |      |
| タクシー      | 約5分  |
| バス        | 約20分 |
| 2番のりば     |      |
| 4番のりば     | 約15分 |
| ※但し15時台まで |      |
| 徒歩        | 約35分 |

市立芦屋病院  
公式 Instagram  
始めました!!



日本医療機能評価機構 認定施設 (3rd G: Ver. 3.0 一般病院2)

**市立芦屋病院**

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1

TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822

H P: <https://www.ashiya-hosp.com/>

